

～ ABCグループCSR「阪神淡路大震災25年企画」～

『阪神淡路大震災25年 激震の記録 1995 取材映像アーカイブ』が
「2020 デジタルアーカイブ産業賞」受賞！

ABCグループCSRの一環として2019年度から展開している「災害アーカイブ公開プロジェクト」が、7月31日、「デジタルアーカイブ推進コンソーシアム（DAPCON）」主催の「デジタルアーカイブ産業賞」の「貢献賞」を受賞しました。

記

◇「2020 デジタルアーカイブ産業賞」一部門「貢献賞」受賞概要

◆受賞対象：「阪神淡路大震災25年 激震の記録 1995 取材映像アーカイブ」
朝日放送グループホールディングス株式会社

◆受賞理由：放送局がビジネスを直接的には考慮せず、社会課題に取り組んだ意義ある仕事。放送法における電波特権の条件である災害報道の意義を広くとらえた仕事として、企業の社会貢献事業的側面を評価したい。

◇「阪神淡路大震災25年 激震の記録 1995 取材映像アーカイブ」HP

https://www.asahi.co.jp/hanshin_awaji-1995/

<備考>

【デジタルアーカイブ推進コンソーシアム（DAPCON）とは】（公式HPより）

<https://dapcon.jp/about/>

我が国における産業振興、学術分野の発展、教育の向上、日常生活の充実等国民生活のあらゆる場面において、デジタルコンテンツの開発・活用は今後の発展のためには不可欠の要因であり、それを支えるインフラとしてのデジタルアーカイブの整備・活用は我が国にとって喫緊の課題となっています。しかし、欧米には言うに及ばず、中国、韓国などのアジア主要国と比べても、我が国におけるデジタルアーカイブ整備は緒についたばかりであり、その促進に向けた急速な取り組みが必要となっています。こうした状況を受けて、デジタルコンテンツの流通・利用とそれを支えるデジタルアーカイブの構築に関わる諸団体が連携し、その促進のための共通の課題解決に向けて取り組むためにデジタルアーカイブ推進コンソーシアム（DAPCON）が2017年4月に発足いたしました。

【デジタルアーカイブ推進について（青柳正規会長）より】（公式HPより）

デジタルアーカイブというと博物館や図書館の収蔵庫に大事にしまわれた文化財の保存と公開という狭い分野の印象を持たれがちですが、本来は、それぞれの時代の最新の技術を用いて、最新の情報を記録し、次世代へ伝えることで、ビジネスや外交交渉を有利に進め、教育水準を高め、コミュニティの維持発展・文化アイデンティティの醸成を助けるものであり、未来への基盤づくりなのです。